

## 鳥取県米子市役所

# 地方自治体の情報発信源を支える Adobe® InDesign®とAdobe Dreamweaver®

Creative Suite® 3を活用して、  
紙媒体とWebサイトの相乗効果を狙う



米子市企画部秘書広報課 主任 足立 謙治氏 (左)  
米子市企画部情報政策課 主任 実繁 浩一氏 (右)

より多くの市民へもっと気軽に見てもらいたい、そんな思いが、作り手の技術を向上させた。必要な情報をより詳しく、よりわかりやすく提供することを使命とする自治体にとって、“本当に必要な取り組みとは何か”を探る。



InDesign CS3で作成された米子市の広報誌「広報よなご」は、毎月5万部が配布されている。紙媒体と同時にPDF版も作成され、同市のホームページ上で閲覧することができる。

以前は漁港関連の部署にいたという経歴を持つ企画部秘書広報課の足立氏。InDesignを通じて物づくりの楽しさを実感することができたという。現在では、同氏が一人で毎月の広報作りを手がけている。



今回取材に訪れた米子市は、日本海に面した鳥取県西部に位置し、山陰道の玄関口として古くから商業や海運業が栄えた歴史のある街だ。2005年に近隣の淀江町と合併し、現在ではおよそ15万人の市民が生活をしている。

その米子市では毎月、市民へ向けた広報誌として「広報よなご」を発行している。発行部数はおよそ5万部で、市の予算概要などの市政に関わる重要な情報から地域の身近な話題まで、幅広い内容を取り上げている。

また、同市のホームページも情報発信の媒体として、重要な役目を背負っている。広報誌ではカバーしきれない速報性の高い情報や広報誌のバックナンバーをPDFで配布するなど、デジタルの特性を活かした内容となっている。

現在、これら広報媒体の制作には、Adobe InDesign CS3とAdobe Dreamweaver® CS3が活用されているという。二人の職員が最新のソフトウェアを駆使し、それぞれの制作を担当しているそうだ。

そこで今回は米子市の広報担当課を取材し、DTP導入に至る経緯やホームページ制作のノウハウを伺った。

## DTPの導入をきっかけに残業時間が減る

広報誌の制作を担当している企画部秘書広報課では、平成17年にInDesign 2.0を購入し、アナログの制作体制からDTPによるデジタルな制作体制へと移行した。同時に、広報誌の制作作業をこれまでの外注システムから市役所内部の制作へと移行させている。

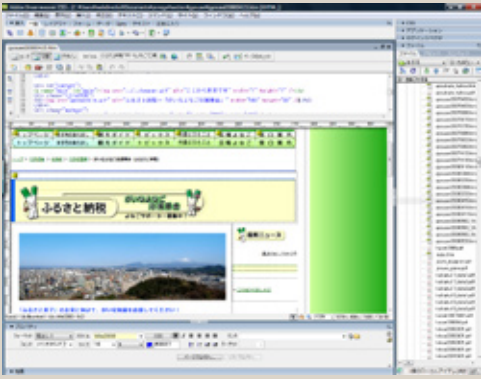
現在、広報誌の制作作業を担当している企画部秘書広報課の足立謙治氏は、現在の職場に配属される以前には漁港関連の仕事を担当する部署に携わっていたという。したがって、InDesignを使うことも初めてなら、パソコンを使っただけのレイアウト作業も初めての経験だったそうだ。

「DTPが導入される以前は、作業の多くを外注へ委託しているにもかかわらず制作に時間がかかり、残業も日常茶飯事でした。しかし、InDesignの導入をきっかけに市役所内部での制作に切り替えたことで、外注先とのやりとりにかかる時間が減り、結果として作業効率が上がって、無駄な残業が減りましたね。」と、足立氏は語る。

いまでは、各課から寄せられた原稿の整理から印刷所への入稿作業まで足立氏が一人で担当している。しかし、初めて取り組むDTPの作業で、オペレーションなどに戸惑いはなかったのだろうか。

あえて最先端の技術は使わない。  
それもアクセシビリティへの取り組みだと思います。

米子市企画部情報政策課 実繁 浩一氏



Dreamweaverで制作中の米子市ホームページ。同市のイメージキャラクター「ヨネギーズ」を有効的に活用し、見やすい構成に仕上がっている。

現在、公開されている米子市のホームページ。ふるさと納税や観光案内など、市外の人に向けた情報も多く発信している。



クリエイターとして、使ってみたい技術は数多くあるが、使う人のことを第一に考えて機能を抑えることも大事、と語る企画部情報政策課の実繁氏

「前任者からの引継ぎ期間は一ヶ月でしたが、前任者の作業を横で見ただけで、一週間もするとおおよその使い方はわかりました。次の号からは一人で制作を担当しています。」

使ってみるまでは、プロが使う高度なソフトウェアという印象が強かったが、実際には作業をしながらごく自然に覚えられたという。また、徐々にスキルアップすることで、ワークフローが向上し、デザインに割く時間が増え、誌面をより充実させることができるようになったそうだ。

実際に広報誌を見ると、これまで平面で表現していた円グラフをIllustratorの3D機能を使って立体化させるなど、回を重ねるごとにデザインにスキルアップしていることがよくわかる。

「スキルアップすると、物づくりの楽しさがわかるようになりますよね。とくにCS3では機能が向上してくれたおかげで、これまでIllustratorやPhotoshopに頼っていた多くの工程をInDesign CS3上でできるようになりました。結果として、ワークフローの向上とデザイン面での充実にかなり貢献していると思います。」と、語ってくれた。

### 読みやすさと親しみやすさにこだわったWeb制作

米子市のホームページを開くと「ねぎ」をモチーフとしたかわいいキャラクターが迎えてくれる。

「ヨネギーズ」と名付けられたこのキャラクターは、米子市と淀江町の合併を機会に制定された米子市のイメージキャラクターだ。

「米子市には弓ヶ浜を初めとする砂地の地域が多く、ねぎがよく育つので、ねぎをモチーフとしています。新しい米子市をアピールするためにも何らかのイメージキャラクターが必要だろうという話になり、一般公募で選ばれました。」と、米子市のホームページ制作を担当する米子市企画部情報政策課の実繁浩一氏は語る。

米子市がホームページを作り始めたのは今からおよそ12年前のことだ。地方自治体としては先駆けとも言えるが、現在のワークフローに落ち着くまでには、いくつかの試行錯誤があったようだ。

「最初に使ったWeb制作アプリケーションでは、こちらが意図しないコードを勝手に組み込むなど、あまり使い勝手のよいものではありませんでした。いろいろなアプリケーションを試すうちに、こういう機能があればいいのにな…と思うようになり、そのすべてを備えていたのがDreamweaverだったわけです。」

### 会社データ

米子市役所  
鳥取県米子市加茂町1-1  
<http://www.yonago-city.jp/>

### チャレンジ

InDesignの導入によって、外注から内部制作の体制を整える。結果として、ワークフローの向上を実現する。

### ソリューション

InDesignのレイアウト作業で使われたデータソースをWebへ転用。紙媒体とWebでデータの共有を図る。

### ベネフィット

InDesignの導入によって、ワークフローの向上と経費の節減を実現。コストが軽減されたことで、誌面のページ数を増やすことができた。

### Tool Kit

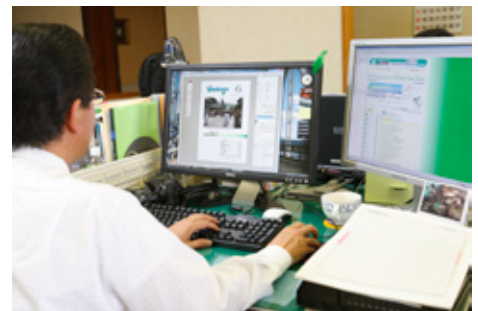
- Adobe® InDesign® CS3
- Adobe® Dreamweaver® CS3
- Adobe® Creative Suite® CS3



"広報よなご" を制作途中のInDesign CS3の画面。表紙の写真も足立氏が撮影したものを利用している。



米子市情報政策課の職場風景。ホームページに関するすべての情報は一度、企画部秘書課へ通され、その後、実繁氏のところへ集約される。



InDesignを使って作業をする足立氏。モニターを2台接続し、仕上がりを確認しながら作業をする。

当初は、メニュー部とコンテンツ部をフレームで切り分けるなど、HTMLを主体としたサイト構成を採用していたが、Dreamweaverへ移行してからは、コーディングのCSS化をすすめ、結果としてアクセス数が格段に増えたそうだ。

しかし、多くの情報を統括しなければならないホームページを一人で管理するのは、大変ではないのだろうか。

「一部の地方自治体のホームページでは、CMS(Content Management System)を利用したサイトを見受けますが、実際にはCMSを使うと更新が手軽にできる反面、サイト管理者の負担が大きくなってしまいます。各人がそれぞれガイドラインを厳守した上でアップしてくれば問題はないのですが、ガイドラインを無視して更新されると、内容や表現に統一感がなくなってしまいます。あとからそれを探して手直しする手間を考えたら、最初から一人でサイトの管理をした方が効率的ですね。」と、実繁氏は語る。

### より多くの人へ気軽に利用してもらうことが大切

長年、培ってきたノウハウを活かして、充実したコンテンツが並ぶ米子市のホームページだが、今後はどのような展開を考えているのだろうか。

「いろいろと試してみたい技術はあります。FlashのFLV技術を使ったストリーミングやAIRなども気になりますね。しかし、技術ばかりを先行させてしまうと、使いこなせない人も出てきます。あえて先端の技術を使わずに、こうした人々をカバーすることもアクセシビリティの一環ではないかと考えています。」

より多くの人々が気軽に利用できる範囲で一步先を行くコンテンツ作りを目指すことが米子市ホームページの基本コンセプトなのだそうだ。

紙媒体とウェブの双方をうまく活かしつつ、より多くの人へ情報を発信する米子市の活躍を期待したい。